

LIBERAL&DEMOCRATIC

自由民主

発行所
自由民主党本部
郵便番号 100-8910
東京都千代田区永田町1-11-23
電話 東京 03(3581)6211(代表)
<毎週火曜日発行>
自由民主党ホームページ URL <http://www.jimin.jp/>



鈴木じゅんじ

衆議院議員 自民党国会対策副委員長



衆議院議員 鈴木 淳司

命と暮らし、最優先

新型コロナウイルス感染症により、国民生活と日本経済に甚大な影響が出ています。自民党は政府と連携して、国民の皆さまの生活、雇用、事業を守り抜くため、多岐にわたる支援策を打ち出しています。その最前線で活躍する鈴木じゅんじ衆議院議員を特集します。

昭和33年
瀬戸市陶原町生まれ
瀬戸市立陶原小学校 卒業
瀬戸市立水無瀬中学校 卒業
愛知県立千種高等学校 卒業
早稲田大学法学部 卒業
松下政経塾
瀬戸市議会議員(2期)
現在、衆議院議員5期目
党国会対策委員会 副委員長
党愛知県支部連合会 副会長
党愛知県第七選挙区支部 支部長

経歴

【政府】

- 総務副大臣
- 経済産業副大臣
- 総務大臣政務官

【衆議院】

- 法務委員長
- 経済産業委員会 筆頭理事
- 文部科学委員会 筆頭理事

【自民党】

- 組織運動本部 地方組織・議員総局長
- 選挙対策委員会 副委員長兼事務局長
- 経済産業部会長
- 副幹事長
- 政務調査会 副会長および会長補佐
- 中小企業・小規模事業者政策調査会 副会長
- 文化立国調査会 副会長
- 雇用問題調査会 副会長

ごあいさつ

安倍内閣の退陣に伴い、その継承発展を掲げる菅新政権が発足しました。

新型コロナウイルス感染症が世界中で蔓延する中、私たちは刻も早いその収束と、コロナ禍にあつてもくらしの安心と経済活動を両立展開できる、新たな日常をなんとしても創り上げなければなりません。

この秋の人事により、私は自民党国会対策委員会副委員長に就きましたが、このような国家的緊急事態に臨む国会として、与野党間の不毛な対立ではなく、お互いの知恵と工夫で高め合う、この困難とも言ふべき時期ならではの創造的な議論を目指したいと思っております。

現下の日本に徒らな政局に明け暮れる時間的猶予はありません。「命と暮らし、最優先」…皆様に育てていただいた政治家として、これまで歩んできた全てをかけて、私はこの難局に取り組みます。

地元のため、日本のために新型コロナウイルスと闘う

新型コロナの危機を乗り越える 感染対策と経済対策を両立をさせ、国民の命と暮らしを守ります。

1 国家と国民生活を守り抜く決意を具現化するために
(衆議院経済産業委員会)



新型コロナウイルスの感染拡大を受け、先の見通しの立たない不安を一刻も早く解消するため、鈴木議員は経済をはじめ社会生活の全ての面で思い切った緊急対策を講じていくよう取り組んでいます。

2 文化を守るために、持続化給付金の枠を拡大
(自民党文化立国調査会)



鈴木議員は公演活動などの休止を余儀なくされている文化芸術に携わるさまざまな個人・団体についても持続化給付金(第2次補正予算)の対象とすべきと訴え、実現しました。

3 地域産業の声を届ける
(自民党陶磁器文化・産業振興議員連盟)



鈴木議員は自民党陶磁器文化・産業振興議員連盟事務局長として、全国の工業・商業組合や各産地などの代表とWeb会議を開催し、要望をしっかりと受け止め、地域の産業を守るため全力で取り組んでいます。

経済分野で地域活性化に取り組み、有権者の負託に応える



中小企業・小規模事業者の円滑な世代交代を後押しする議員連盟の一員として安倍晋三総理(当時)に提言を申し入れました。



中部地域の国会議員と共に「中部地域ものづくり産業基盤・エネルギー勉強会」を主導し、中部経済連合会、名古屋大学との意見交換を行いました。

2度目の副大臣、総務副大臣として政府中枢での取り組み



予算委員会の開かれる衆院第一委員室にて答弁。各省大臣は予算委員会と主管委員会で答弁をしますが、それ以外の委員会では、副大臣以下が答弁をします。



ベトナムを訪問し、ピン筆頭副大臣やタン計画投資副大臣らと両国の戦略的パートナーシップに基づく多様な協力関係、統計分野における協力について協議しました。ピン副大臣は早大の同窓です。

地元の声を聴くことこそが鈴木じゅんじさんのライフワーク



自民党に入党して、党员として自民党 鈴木じゅんじさんを支えてください。

【入党資格】

- わが党の綱領、主義、政策等に賛同される方
- 満18歳以上で日本国籍を有する方
- 他の政党の党籍を持たない方

【党費】

- | | |
|------|-------------|
| 一般党员 | 年額4,000円 |
| 家族党员 | 年額2,000円 |
| 特別党员 | 年額20,000円以上 |

党员になると

- 自民党総裁選挙の投票権があります(総裁選挙の前年と前々年の2年継続して党費を納めた党员)
- 機関紙「自由民主」党员版をお届けします
- 党支部や地域の講演会等にご参加いただけます

お申し込みには、紹介党员が必要です。お知り合いに党员がいない場合はご相談ください。家族党员として入党するには、同一世帯に一般党员1名が必要です。※お申込み・お問合せは、鈴木じゅんじ事務所までお願いいたします。

【瀬戸事務所】
〒489-0929 瀬戸市西長根町83
Kインタービル2F
TEL:0561-89-3611 FAX:0561-89-3655

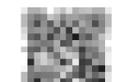
【国会事務所】
〒100-8981 東京都千代田区永田町2-2-1
衆議院第一議員会館1110号室
TEL:03-3508-7264 FAX:03-3508-3534

HPアドレス: suzukaze.net E-mail: info@suzukaze.net

Twitter・Facebookもご覧ください!

Twitter

Facebook



QRコードで簡単アクセス

鈴木じゅんじ 検索



国・県・市町と政権与党の密接な連携があればこそその着実な進展

鈴木じゅんじ 議員の「実績と決意」

『ここに住みたいまちづくり』に取り組みます

子供たちの未来のために

瀬戸市において、小学校5校と中学校2校を統合して令和2年4月に小中一貫校「にじの丘学園」が開校しました。

本校の建設に当たっては、文部科学省を中心に農林水産省・環境省などから約24億円の国費が投入されました。子供たちの未来のため、本学園を中核として進められる小中一貫教育の推進や閉校となる各小中学校の跡地利活用のあり方について全力で取り組む決意です。

豊明市においては、外国人の児童生徒に対する日本語教育の充実に向けさまざまな取り組みがなされています。公立学校に在籍する日本語指導が必要な児童生徒数は5万人以上で、今後、ますます増加すると考えられます。

全ての子供たちの夢が叶う多文化共生社会の実現を目指し地域の皆さまと共に取り組む決意です。



にじの丘学園



看護の現場の皆さんと意見交換

安心して子育てができ、子供が健やかに育つための教育環境の整備実現

- 1 教育環境の整備 ▶ 学校施設の長寿命化、ICT環境整備など
- 2 未就学児の子育て環境整備 ▶ 保育サービスの拡充、公立保育所整備支援など
- 3 苦しむ子供の課題解決 ▶ 不登校・ひきこもり対策、定住外国人児童生徒の日本語教育推進など

未来へつなげるインフラ整備

県道瀬戸大府東海線は、60年以上をかけた38.1kmのうち34.2kmの整備は終わっていますが、長久手市と瀬戸市内では未整備区間も残っています。令和元年の要望活動で、国土交通省より「地元で条件を整えれば予算を付ける」という前向きな姿勢が示されました。

社会資本整備総合交付金を活用する県道および重点道の駅、下水道事業などのインフラ整備を促進するため、国・県・市で連携し全力で取り組む決意です。



財務省(公共事業担当)に申し入れ

地域住民が自立し、支え合う安心で安全に暮らせるまちづくり

- 1 道路環境整備や都市インフラ老朽化対策 ▶
 - ・事後保全から計画的かつ予防的な修繕で費用の縮減を図る
 - ・未着手区間の早期事業化を含む瀬戸大府東海線整備促進、国道153号豊田西バイパス6車線化、国道155号歩道整備による通学路の安全確保、国道155号バイパス整備促進、スマートICや外部利用を含めたPA整備促進
- 2 災害対策 ▶ 土砂災害対策の推進、大規模災害活動拠点でもある道の駅整備、迅速な復旧・復興体制の整備など
- 3 福祉と住環境の充実 ▶ 産官学で取り組むヘルスケア産業の創出、汚水処理の広域化を含む下水道事業推進など

豊かな暮らしのために

地域医療を守るために

陶生病院は、尾張東部地域住民の「医療の質」と「安全確保」という使命のもと、幅広い診療機能を有する地域の中核病院です。この陶生病院の建て替えには、これまで4年間で10億5千万円の国費が投じられています。

これからも地域の皆さまが安心して暮らせるよう医療・介護・福祉の充実に取り組んでまいります。



文化振興の拠点を守るために

天皇陛下御即位後初の地方行幸啓であった「全国植樹祭」の荒天会場に予定されていた尾張旭市文化会館の改修(老朽化、耐震化)が行われました。13億8千万円が投じられた大規模な改修です。

安全安心な拠点をつくり、地域の伝統や文化を守っていきます。一人一人の心が豊かになるよう文化振興に取り組む決意です。



都市基盤整備による利便性向上と豊かな暮らしを実感できるまちづくり

- 1 地域医療と文化振興 ▶ 陶生病院、尾張旭市文化会館など
- 2 都市計画への支援 ▶ 団地の再生計画、区画整理事業促進、市街地活性化、商業施設・企業誘致の促進など
- 3 自然豊かなまちづくり ▶ 付加価値の高い都市近郊農業の推進など

令和2年度 国庫支出金交付状況 ※選挙区内一部抜粋

地方創生臨時交付金	新型コロナウイルス感染症対応	41億4,671万円
社会資本整備総合交付金等	下水道・生活道路の整備、橋梁・トンネルなどの長寿命化、都市再生、重点「道の駅」整備	25億7,854万円
GIGAスクール関連交付金	学校でネットワーク環境の整備を推進し、全学年の児童生徒それぞれが端末を持って活用できる環境を目指す	15億6,056万円
学校施設環境改善交付金	長根小・幡山中大規模改修など学校施設の改修	8億1,921万円
公立学校施設整備国庫負担金	幡山東小増築など学校施設の新築・増築	1億3,262万円